

大学番号：038

注3

[平成28年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

事前伺い

金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科 医学専攻
(博士課程)

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 金沢大学
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 総務部総務課

職名・氏名 政策調整係 ^{ミシマ}三島 ^{タクヤ}卓也

電話番号 076-264-5114

(夜間) 076-264-5114

F A X 076-234-4010

e-mail seisaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	14
6. 留意事項等に対する履行状況等	16
7. その他全般的事項	17

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 金沢大学

(2) 大学名

金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科

(3) 大学の位置

〒920-8640 石川県金沢市宝町13番1号
(本部 : 〒920-1192 石川県金沢市角間町)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

事前伺いのため記載なし

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが, 開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
医薬保健学総合研究科 医学専攻(博士課程) 博士(医学, 学術)	4 年	64 人	256 人	基礎となる学部等 医薬保健学域医学類

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	64 (-) [-]								0.84倍	
志願者数	57 (-) [5]									
受験者数	57 (-) [5]									
合格者数	57 (-) [5]									
B 入学者数	54 (-) [4]									
入学定員超過率 B/A	0.84									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入して
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入して
 ください。

「留学ビザ」により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。

- ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[4] (-) 54	[-] (-) -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	[4] (-) 54	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	

- (注)
- ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で**記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	54 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	54 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<医薬保健学総合研究科医学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目群	論文演習	1前or後		1							兼1	
	医学統計学演習	1前or後		1							兼1	
	細胞培養法	1前or後		1							兼1	
	細胞培養法実習	1前or後		1							兼1	
	微生物培養法	1前or後		1		1						
	微生物培養法実習	1前or後		1		1						
	形態解析研究法	1前or後		1							兼1	
	形態解析研究法実習	1前or後		1							兼1	
	遺伝子操作実験法	1前or後		1		1						
	遺伝子操作実験法実習	1前or後		1		1						
	生化学分子生物学研究法	1前or後		1							兼1	
	生化学分子生物学研究法実習	1前or後		1							兼1	
	免疫学研究法	1前or後		1		1						
	免疫学研究法実習	1前or後		1		1						
	トレーサー実験法	1前or後		1							兼1	
	トレーサー実験法実習	1前or後		1							兼1	
	実験動物学	1前or後		1		1						
	実験動物学実習	1前or後		1		1						
	発生工学基礎技術コース	1・2前or後		1		1						
	遺伝子工学基礎技術コース	1・2前or後		1		1						
	社会医学研究法	1前or後		1							兼1	
	社会医学研究法実習	1前or後		1							兼1	
	分子生物学入門	1前or後		1		1						
分子腫瘍学特論	1前or後		1		1							
臨床統計学特論	1前or後		1							兼1		
臨床栄養学特論	1前or後		1			1						
臨床統計学演習	1前or後		1							兼1		
レギュラトリーサイエンス特論	1後		2							兼1		
研究倫理	1前or後		1							兼1		
環境と健康総論	1後		2							兼1		
領域融合	基礎系領域融合セミナー	1・2前or後		2		+					兼1	担当教員の異動に伴う教員配置の変更(28)
	臨床系領域融合セミナー	1・2前or後		2		1						
	メディカル・イノベーションセミナー	1・2前or後		2		1						
	レギュラトリー・サイエンスセミナー	1・2前or後		2		1						
	医学系セミナー	1・2前or後		2		1					兼1	
	がん研セミナー	1・2前or後		2								
	メディカルサイエンスセミナー	1・2前or後		2		1						
	アドバンスド・メディカルサイエンスセミナー	1・2前or後		2		1						
	学際センターセミナー	1・2前or後		2		+					兼1	担当教員の異動に伴う教員配置の変更(28)
	メディカルインフォーマティクス	1・2前or後		2		1						
	チーム医療論	1・2前or後		2		1						
プレゼンテーション方法論	1・2前or後		2		1							
最新医学セミナー科目	先端医学セミナー	1・2前or後		10		1						
	Up-to-dateセミナー	1・2前or後		2		1						
	組織発達構築学特論	1~2通		12		1						
	細胞増殖調節学	1・2前or後		6		1						
	組織発生分化学	1・2前or後		6		1	+					担当教員の異動に伴う変更(28)
	機能解剖学特論	1~2通		12						兼1		
	疼痛学	1・2前or後		4						兼1		
	自律神経学	1・2前or後		4						兼1		
	臨床解剖学	1・2前or後		4						兼1		
	神経分子標的学特論	1~2通		12		1						
	神経発生解剖学	1・2前or後		4			1					
	脳循環代謝学	1・2前or後		4		1						
	神経細胞死制御学	1・2前or後		4		1	1					
	血管情報伝達学特論	1~2通		12		1	2					
	循環生理学	1・2前or後		6		1	1					
	血管増殖調節学	1・2前or後		6		1	1					
	分子神経科学・統合生理学特論	1~2通		12		+	1					担当教員の異動に伴う変更(28)
神経可塑性機能論	1・2前or後		4		+	1					担当教員の異動に伴う変更(28)	

シナプス機能解析学	1・2前or後	4			1					
神経回路発達学	1・2前or後	4		↓	1					担当教員の異動に伴う変更(28)
分子遺伝学特論	1～2通	12							兼1	
遺伝生化学	1・2前or後	6							兼1	
遺伝情報解析学	1・2前or後	6							兼1	
血管分子生物学特論	1～2通	12			1					
血管細胞生物学	1・2前or後	6			1			J		
分子医化学	1・2前or後	6			1					
分子情報薬理学特論	1～2通	12		↓	1					担当教員の異動に伴う変更(28)
細胞シグナル伝達学	1・2前or後	6		↓	1					担当教員の異動に伴う変更(28)
細胞分子機能学特論	1～2通	12			1					教育内容充実のため科目の追加(28)
分子細胞病理学特論	1～2通	12			1					
神経病理学	1・2前or後	6			1					
分子病理学	1・2前or後	6			1					
形態機能病理学特論	1～2通	12			1	1	1			
分子免疫病理学	1・2前or後	4			1	1	1			
がん形質発現学	1・2前or後	4			1	1	1			
組織細胞形態診断学	1・2前or後	4			1	1	1			
細菌感染症制御学特論	1～2通	12			1					担当教員の異動に伴う変更(28)
細菌遺伝学	1・2前or後	6			1					担当教員の異動に伴う変更(28)
国際細菌感染症学	1・2前or後	6			1					担当教員の異動に伴う変更(28)
寄生虫感染症制御学特論	1～2通	12							兼1	
衛生動物学	1・2前or後	6							兼1	
国際寄生虫感染症学	1・2前or後	6							兼1	
ウイルス感染症制御学特論	1～2通	12							兼1	
ウイルス遺伝学	1・2前or後	6							兼1	
ウイルス化学療法学	1・2前or後	4							兼1	
国際ウイルス感染症学	1・2前or後	2							兼1	
再生分子医学特論	1～2通	12			1	1				
分子細胞病因学	1・2前or後	4			1	1				
分子細胞再生学	1・2前or後	4			1	1				
器官再生・造成学	1・2前or後	4			1	1				
脳細胞遺伝子学特論	1～2通	12			1	1				
脳細胞生物学	1・2前or後	4			1	1				
脳細胞遺伝子機能学	1・2前or後	4			1	1				
脳細胞生化学	1・2前or後	4			1	1				
革新ゲノム情報学特論	1～2通	12							兼2	
免疫生体防御学特論	1～2通	12			1					
遺伝子改変動物学特論	1～2通	12			1	1				
実験動物学特論	1・2前or後	4			1	1				
神経発生学特論	1～2通	12			1					
代謝生理学特論	1～2通	12							兼1	
細胞代謝栄養学特論	1～2通	12							兼1	
分子病態学特論	1～2通	12			1					
がん細胞生物学	1・2前or後	6			1					
シグナル伝達学特論	1～2通	12			1					
遺伝子機能解析学	1・2前or後	6			1					
細胞機能学特論	1～2通	12			1					
癌浸潤転移分子学	1・2前or後	6			1					
生体防御機構学特論	1～2通	12			1					
細胞死分子生物学	1・2前or後	6			1					
サイトカイン学特論	1～2通	12			1					
分子生体応答学	1・2前or後	6			1					
幹細胞生物学特論	1～2通	12							兼1	
遺伝子発現学	1・2前or後	6							兼1	
分子腫瘍発生学特論	1～2通	12							兼1	
がん分子病理学	1・2前or後	6							兼1	
腫瘍分子生物学特論	1～2通	12			1					
がん分子生物学	1・2前or後	6			1					
臨床分子腫瘍学特論	1～2通	12			1					
腫瘍制御学	1・2前or後	6			1					
腫瘍生物学特論	1～2通	12			1					
分子再生医学	1・2前or後	6			1					
腫瘍ウイルス学特論	1～2通	12			1					
ゲノム情報生物学	1・2前or後	6			1					
腫瘍内科学特論	1～2通	12			1		2			
分子薬物治療学	1・2前or後	6			1		2			
環境生体分子応答学特論	1～2通	12							兼1	
環境認知学	1・2前or後	4				1			兼1	
生体応答学	1・2前or後	4				1			兼1	
環境評価学	1・2前or後	4				1			兼1	
環境生態医学・公衆衛生学特論	1～2通	12							兼1	
環境障害発生論	1・2前or後	4							兼1	

社会医学系科目	環境産業中毒学	1・2前or後	4					兼1
	環境生理学	1・2前or後	2					兼2
	実験環境疫学	1・2前or後	2			1		兼1
	法・社会環境医学特論	1～2通	12	1	1			
	法医病理学	1・2前or後	4	1				
	法医遺伝・鑑識学	1・2前or後	4	1	1			
	法医中毒学	1・2前or後	4	1	1			
	医薬情報統御学特論	1～2通	12	1	1			
	薬物間相互作用論	1・2前or後	6	1	1			
	薬物療法科学	1・2前or後	6	1	1			
	医療経営学特論	1～2通	12	1				
	医療安全管理学	1・2前or後	2	1				
	医療マーケティング	1・2前or後	2	1				
	医療経営学	1・2前or後	2	1				
	臨床開発システム構築学特論	1～2通 1・2前or後	12 2	1				配当年次及び単位数の誤記による修正 (28)
	専門科目群 内科系科目	恒常性制御学特論	1～2通	12			1	
消化器病学		1・2前or後	2			1		兼1
遺伝子発現制御学		1・2前or後	4				1	兼1
腎臓病学		1・2前or後	2			1		兼1
消化管遺伝子治療学		1・2前or後	4					兼1
臓器機能制御学特論		1～2通	12		1			
循環器病学		1・2前or後	4		1	1		
内分泌代謝学		1・2前or後	8			1		
細胞移植学特論		1～2通	12		1			
呼吸器病学		1・2前or後	2			1		
血液病学		1・2前or後	2		1			
幹細胞制御学		1・2前or後	2		1			
移植血管情報学		1・2前or後	2			1		
細胞分化制御学		1・2前or後	2		1			
移植炎症制御学		1・2前or後	2		1			
呼吸器内科学特論		1～2通	12			1		教育内容充実のため科目の追加 (28)
脳老化・神経病態学特論		1～2通	12		1	1		
神経内科学		1・2前or後	6		1	1		
神経分子病態学		1・2前or後	6		1	1		
脳情報病態学特論		1～2通	12		1			
精神神経科学特論		1・2前or後	4		1			
脳変性疾患病態学		1・2前or後	4			1		
情報認知医学		1・2前or後	2		1	1		
脳情報伝達解析学		1・2前or後	2		1			
発生発達病態学特論		1～2通	12		1			
小児血液腫瘍学		1・2前or後	4		1			
先天性代謝病学		1・2前or後	4		1		1	
小児科学		1・2前or後	4		1			
画像診断治療学特論		1～2通	12		1			
放射線診断学		1・2前or後	4				1	
血管内治療学		1・2前or後	4			1	1	
磁気共鳴診断学		1・2前or後	2		1			
画像診断学		1・2前or後	2		1			
バイオトレーサー診療学特論		1～2通	12				1 2	兼2 担当教員の異動に伴う変更 (28)
バイオトレーサー測定技術学		1・2前or後	2				1 2	兼2 担当教員の異動に伴う変更 (28)
臨床腫瘍核医学		1・2前or後	4				1 2	兼2 担当教員の異動に伴う変更 (28)
がん親和性放射性医薬品学		1・2前or後	2				1 2	兼2 担当教員の異動に伴う変更 (28)
バイオトレーサー画像解析学		1・2前or後	2				1 2	兼2 担当教員の異動に伴う変更 (28)
バイオトレーサー情報処理学		1・2前or後	2				1 2	兼2 担当教員の異動に伴う変更 (28)
血管新生学・結合組織代謝学特論		1～2通	12		1			
膠原病学		1・2前or後	3			1		
皮膚病学特論		1・2前or後	3		1			
皮膚腫瘍学		1・2前or後	3				1	
皮膚免疫学	1・2前or後	3				1		
血液情報統御学特論	1～2通	12				1	兼1	
臨床検査学	1・2前or後	6				1	兼1	
細菌検査学	1・2前or後	2				1	兼1	
内分泌診断学	1・2前or後	4				1	兼1	
包括的代謝学特論	1～2通	12					兼2	

ナル医養成科目	臨床腫瘍学特論	1前or後	1	1						
	がん外科学特論	1前or後	1	1						
	腫瘍薬物学演習	1前or後	1	1						
	腫瘍放射線医学演習	1前or後	1	1						
	がん緩和医療学演習	1前or後	1		1					
	腫瘍病理学演習	1前or後	1	1						
	臨床腫瘍学演習	1前or後	1	1						
	がん外科学演習	1前or後	1	1						
認知症プロフェッショナル医養成科目	認知症基礎	1-2前or後	1	1						
	認知症候学 認知症候群	1-2前or後	1	1						科目名の誤記による修正 (28)
	認知症検査・診断学	1-2前or後	1	1						
	認知症治療・予防学 認知症治療予防学	1-2前or後	1	1						科目名の誤記による修正 (28)
	認知症ケア・リハビリ・地域支援・倫理	1-2前or後	1	1						
	認知症各論Ⅰ	1-2前or後	1	1						
	認知症各論Ⅱ	1-2前or後	1	1						
	認知症特論	1-2前or後	2	1						
	認知症診断・治療学演習Ⅰ	1-2前or後	1	1						
	認知症診断・治療学演習Ⅱ	1-2前or後	1	1						
	認知症診断・治療学演習Ⅲ	1-2前or後	1	1						
認知症診断・治療学演習Ⅳ	1-2前or後	1	1							
地域認知症疫学・予防・ケア実習	1-2前or後	3	1							
認知症・神経難病の臨床病理実習	1-2前or後	3	1							
メディカル・イノベーション人材養成科目	メディカル・イノベーション演習	3-4前or後	2	1						
	インターンシップ	3-4前or後	2	1						
	実践英語	1-2前or後	2	1						
国際医療人養成科目	先端医科学・薬学セミナー	1-2前or後	2	1						
	環境と健康各論	1-2前or後	2	1						

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
1	283	0	284	1	287	0	288	
				[]	[4]	[]	[4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

事前伺いのため記載なし

4 既設大学等の状況

大学の名称	金 沢 大 学						備 考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度 所 在 地
	年	人	年次人	人		倍	
人間社会学域							
人文学類	4	145	-	580	学士 (文学)	1.05	平成20年度 金沢市角間町
法学類	4	170	3年次 10	700	学士 (法学)	0.97	平成20年度 金沢市角間町
経済学類	4	185	-	740	学士 (経済学)	1.00	平成20年度 金沢市角間町
学校教育学類	4	100	-	400	学士 (教育学)	1.00	平成20年度 金沢市角間町
地域創造学類	4	80	-	320	学士 (地域創造学)	1.03	平成20年度 金沢市角間町
国際学類	4	70	-	280	学士 (国際学)	1.03	平成20年度 金沢市角間町
理工学域							
数物科学類	4	84		336	学士 (理学)	1.04	平成20年度 金沢市角間町
物質化学類	4	81		324	学士 (理学・工学)	1.04	平成20年度 金沢市角間町
機械工学類	4	140	学域 共通	560	学士 (工学)	1.06	平成20年度 金沢市角間町
電子情報学類	4	108	3年次 40	432	学士 (工学)	1.04	平成20年度 金沢市角間町
環境デザイン学類	4	74		296	学士 (工学)	1.06	平成20年度 金沢市角間町
自然システム学類	4	102		408	学士 (理学・工学)	1.06	平成20年度 金沢市角間町
				80		1.06	
医薬保健学域							
医学類	6	112	2年次 5	697	学士 (医学)	1.00	平成20年度 金沢市宝町13-1
薬学類	6	35	-	210	学士 (薬学)	1.01	平成20年度 金沢市角間町
創薬科学類	4	40	-	160	学士 (創薬科学)		平成20年度 金沢市角間町
保健学類							
看護学専攻	4	80	3年次 10	340	学士 (看護学)	0.99	平成20年度 金沢市小立野5-11-80
放射線技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	0.96	平成20年度 金沢市小立野5-11-80
検査技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	0.90	平成20年度 金沢市小立野5-11-80
理学療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士 (保健学)	0.82	平成20年度 金沢市小立野5-11-80
作業療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士 (保健学)	0.85	平成20年度 金沢市小立野5-11-80
教育学研究科							
教育実践高度化専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	平成21年度 金沢市角間町
人間社会環境研究科							
人文学専攻	2	23	-	46	修士 (文学・学術)	0.82	平成24年度 金沢市角間町
法学・政治学専攻	2	8	-	16	修士 (法学・政治学)	0.49	平成24年度 金沢市角間町
経済学専攻	2	8	-	16	修士 (経済学・経営学・学術)	0.87	平成24年度 金沢市角間町
地域創造学専攻	2	8	-	16	修士 (地域創造学・学術)	0.75	平成24年度 金沢市角間町
国際学専攻	2	8	-	16	修士 (国際学・学術)	1.06	平成24年度 金沢市角間町
人間社会環境学専攻	3	12	-	36	博士 (社会環境学・文学・法学・政治学・経済学・学術)	1.22	平成18年度 金沢市角間町
自然科学研究科							
数物科学専攻	2	56	-	112	修士 (理学・学術)	1.12	平成24年度 金沢市角間町
物質化学専攻	2	57	-	114	修士 (理学・工学・学術)	1.03	平成24年度 金沢市角間町

平成28年度より
学生募集停止

機械科学専攻	2	90	-	180	修士 (工学・学術)	1.26	平成24年度	金沢市角間町	
電子情報科学専攻	2	67	-	134	修士 (工学・学術)	1.24	平成24年度	金沢市角間町	
環境デザイン学専攻	2	40	-	80	修士 (工学・学術)	0.85	平成24年度	金沢市角間町	
自然システム学専攻	2	67	-	134	修士 (理学・工学・学術)	1.13	平成24年度	金沢市角間町	
数物科学専攻		15	-	45	博士 (理学・学術)	0.72	平成16年度	金沢市角間町	
物質化学専攻	3	14	-	42	博士 (理学・工学・学術)	0.40	平成26年度	金沢市角間町	
機械科学専攻	3	25	-	75	博士 (工学・学術)	0.57	平成26年度	金沢市角間町	
電子情報科学専攻	3	18	-	54	博士 (工学・学術)	0.68	平成16年度	金沢市角間町	
環境デザイン学専攻	3	10	-	30	博士 (工学・学術)	1.33	平成26年度	金沢市角間町	
自然システム学専攻	3	21	-	63	博士 (理学・工学・学術)	0.61	平成26年度	金沢市角間町	
システム創成科学専攻	3	-	-	-	博士 (工学・学術)	-	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より 学生募集停止
物質科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学・工学・学術)	-	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より 学生募集停止
環境科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学・工学・学術)	-	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より 学生募集停止
生命科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学・学術)	-	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より 学生募集停止
医薬保健学総合研究科									
医科学専攻	2	15	-	30	修士 (医科学)	0.73	平成24年度	金沢市宝町13-1	
医学専攻	4	64	-	64	博士 (医学・学術)	0.84	平成28年度	金沢市宝町13-1	
脳医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	平成24年度	金沢市宝町13-1	平成28年度より 学生募集停止
がん医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	平成24年度	金沢市宝町13-1	平成28年度より 学生募集停止
循環医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	平成24年度	金沢市宝町13-1	平成28年度より 学生募集停止
環境医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学・学術)	-	平成24年度	金沢市宝町13-1	平成28年度より 学生募集停止
創薬科学専攻	2	38	-	76	修士 (創薬科学)	1.01	平成24年度	金沢市角間町	
創薬科学専攻	3	11	-	33	博士 (創薬科学・学術)	1.20	平成24年度	金沢市角間町	
薬学専攻	4	4	-	16	博士 (薬学・学術)	1.06	平成24年度	金沢市角間町	
保健学専攻	2	70	-	140	修士 (保健学)	0.88	平成24年度	金沢市小立野5-11-80	
保健学専攻	3	25	-	75	博士 (保健学)	1.22	平成24年度	金沢市小立野5-11-80	
先進予防医学研究科									
先進予防医学共同専攻	4	12	-	12	博士 (医学)	1.16	平成28年度	金沢市宝町13-1	
法務研究科	3	15	-	55	法務博士 (専門職)	0.37	平成16年度	金沢市角間町	
教職実践研究科									
教職実践高度化専攻	2	15	-	15	教職修士 (専門職)	1.00	平成28年度	金沢市角間町	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部、学科)及び大学院(専攻)(A C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・ A C対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<医薬保健学総合研究科医学専攻（博士課程）>

(1) 担当教員表

事前伺いのため記載なし

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
44	33	29	0	106	42	32	25	0	99	42	32	25	0	99
(44)	(33)	(29)	0	(106)						[Δ2]	[Δ1]	[Δ4]	[0]	[Δ7]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
44	62	0			42	57	0			42	57	0		
(44)	(62)	0								[Δ2]	[Δ5]	[0]		

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の辞任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況
事前伺いのため記載なし

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況
事前伺いのため記載なし

上記(3) -① ・ (3) -② の合計
事前伺いのため記載なし

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」
事前伺いのため記載なし

—

6 留意事項等に対する履行状況等

事前伺いのため記載なし

7 その他全般的事項

<医薬保健学総合研究科医学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

事前伺いのため記載なし

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

事前伺いのため記載なし

(3) 自己点検・評価等に関する事項

事前伺いのため記載なし

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有) ・ (無)

b 公表予定時期 (平成 28年 7月 1日)